

事業所名		こども発達未来スタジオippo				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日		令和8	年	7	月	1	日	
法人（事業所）理念		成長起点、人生にきっかけを。																
支援方針		発達 の 土台をチームで支える「はじめの療育」 発達・成長の土台を“関わり”や“環境面”から整え、子どもの可能性の芽をみつけ、広げる																
営業時間		9時0分から18時0分まで				送迎実施の有無		ありなし										
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	■自立に向かう生活力の育成 ・学校後の疲れや生活リズムに配慮し、安心して過ごせる居場所づくりを行う。 ・身の回りのことや生活習慣について、一人ひとりの状況に応じた支援を行い、「自分でできた」という経験を積み重ね、自立につなげる。																
	運動・感覚	■身体の使い方を社会生活へ ・運動遊びや感覚遊びを取り入れ、楽しみながら身体の使い方を学べる機会を提供する。 ・感覚特性や得意・不得意に配慮しながら、達成感を味わえる活動設定を行い、自己肯定感を育てる。																
	認知・行動	■学校・社会に必要な行動力 ・学校や社会生活で必要な行動について、見通しやルールを分かりやすく伝える支援を行う。 ・感情のコントロールや切り替えについて、成功体験を積み重ねながら身につけられる関わりを行い、行動面の安定を図る。																
	言語 コミュニケーション	■人とつながるための言葉の力 ・日常のやりとりや活動を通して、自分の気持ちや考えを伝える経験を大切にする。 ・相手の話を聞く力や、場面に応じた伝え方を、安心できる関係性の中で身につけられるよう支援する。																
	人間関係 社会性	■社会参加につながる力 ・ルールのある遊びや集団活動を通して、人との関わり方や役割を学ぶ機会を提供する。 ・トラブル時には職員が仲介し、「関われた」「折り合いをつけられた」という成功体験を積み重ね、社会性の向上につなげる。																
家族支援		はじめて療育を利用する保護者の不安や思いを丁寧に受け止め一緒に関わり方や支援方法を考えおこなっていく。不安や疑問があった時などに相談できる環境を整え「一人で抱えない」を大切に支援する。				移行支援		就学・進級・進学等の環境の変化に向けて、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもが安心して次のステップへ移行できるよう支援を行う。										
地域支援・地域連携		家庭・園や学校・関係機関と連携し、情報共有を大切にしながら、子どもが安心して地域で生活できる力を育む。公共施設の利用や外出体験等を通して、社会経験を広げる支援を行う。				職員の質の向上		定期的に行う全体会議や研修を通じて、職員の資質向上・支援の方向性の共有を行なっている。また、障がいへの理解・職員個人の能力向上を目的とした福祉専門eラーニングシステムを活用し、全スタッフ動画講座の受講を必須としている。										
主な行事等		■からだであそぶ！ チャレンジデー：公園遊び・室内遊具遊び・プールなどで体と感覚を育てる。■つくって伝える！ 気持ちアート：制作活動を通して気持ちや好きなことを表現し、「伝える」「聞いてもらえる」経験につなげる。■みんなでできるもん！ お友達とクッキング体験・工程のある活動に取り組み、見通しをもって行動する力や達成感を育てる。■ippoフレンドパーク：チームで楽しむ「協力ミッション」・小集団での活動を通し、人と関わりながら一緒に取り組む経験を大切にする。■いっぱいでGO：公園や地域施設での体験を通して、季節や環境への興味を広げる。																